

【2018年度 研究費獲得】

文部科学省科学研究費 代表

1. 日本学術振興会：日米科学技術協力事業「脳研究」分野グループ共同研究(平成29年度)「児童青年期のヒト脳発達に及ぼす影響に関する研究」、友田明美(日本側代表)
2. 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究(平成30年度)「発達科学と神経科学の融合によるヒト発達の中間表現型のシステム開発」、友田明美(代表)
3. 科学研究費補助金 基盤研究(C)(平成30年度)「アロペアレンティング状況が子の社会性発達および養育者のメンタルヘルスに及ぼす影響」、藤澤隆史(代表)
4. 科学研究費補助金 若手研究(平成30年度)「愛着関連障害と発達障害の判別システム：中間表現型を用いた研究」、滝口慎一郎(代表)
5. 科学研究費補助金 若手研究(B)(平成30年度)「子育て困難の個人差に関わる社会神経科学的メカニズムの解明」、島田浩二(代表)
6. 科学研究費補助金 若手研究(平成30年度)「安静時機能的MRIを用いたADHDにおける神経ネットワークと遺伝子の関連解析」、水野賀史(代表)
7. 科学研究費補助金 若手研究(平成30年度)「養育者支援によるADHD児と養育者間の問題改善に関わる神経科学的基盤の解明」、牧田 快(代表)

文部科学省科学研究費 分担

8. 科学研究費補助金 基盤研究(B)(平成30年度)「子どもの心的外傷関連障害治療プログラムの多機関における効果検証と応用に関する研究」(代表者名 亀岡智美)、友田明美(分担)
9. 科学研究費補助金 基盤研究(C)(平成30年度)「社会的相互作用によるオキシトシンの分泌が、児童の認知機能に与える影響」(代表者名 齋藤大輔)、藤澤隆史(分担)
10. 科学研究費補助金 基盤研究(C)(平成30年度)「キレル子どもの神経基盤の解明と有効な包括的対支援システムの構築」(代表者名 川谷正男)、水野賀史(分担)
11. 科学研究費補助金 基盤研究(C)(平成30年度)「発達性ディスレクシアの神経基盤の解明と早期発見・介入の試み」(代表者名 巨田元礼)、水野賀史(分担)

受託研究

12. 平成30年度 科学技術振興機構 社会技術研究開発(RISTEX)「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」領域課題名「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」(代表者名 黒田公美)、友田明美(分担)
13. 平成30年度 科学技術振興機構 社会技術研究開発(RISTEX)「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」領域課題名「養育者支援によって子どもの虐待

を低減するシステムの構築」(代表者名 友田明美)

その他

14. 平成30年度 福井大学卓越研究者に対する支援助成、子どものこころの問題に「気づいて・つないで・支える」多職種連携システムの構築のための研究開発、友田明美(代表)
15. 平成30年度 福井大学研究育成経費、島田浩二(代表)
16. 平成30年度 NPO法人 依存学推進協議会 研究助成、「被虐待経験における報酬系神経回路と依存症リスク要因に関する研究」、滝口慎一郎(代表)
17. 平成30年度 福井大学地域貢献事業支援金「親子の相互作用を促すことで養育者の発展を期待した地域親子支援グループ(集まれAキッズ)の開催」、榊原信子(代表)
18. 平成30年度 発達科学研究教育奨励賞助成、矢尾明子(代表)
19. 平成30年度 前川財団家庭・地域社会教育助成『母親の子どもに「教える行動」の機能的役割に関する検討ー親性獲得プロセス解明を目指してー』、笠羽涼子(代表)
20. 平成30年度 臨床薬理研究振興財団 研究奨励助成「愛着障害へのオキシトシン点鼻効果の探求」、滝口慎一郎(代表)